



令和2年11月4日(水) 第23号



修学旅行が無事に終了



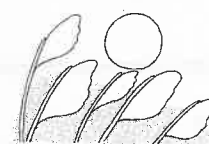
新型コロナによる影響で2回の延期を乗り越えて、10月28日(水)～30日(金)に、無事に修学旅行が実施されました。6月に予定されていた当初のプログラムから少しの変更を余儀なくされましたが、それでも【2泊3日】・【長野県白馬・岐阜県飛騨高山】という修学旅行の大筋は変更せずに実施することができました。行く前は「もしものときは保護者が現地まで迎えに行かないといけない」ということで保護者のみなさまを大いに心配させましたが、結局は、この3日間、発熱で離団する人を1人も出すことなく、最後まで無事に実施できました。“奇跡”といっても過言ではないですね。今回の学年だよりでは、修学旅行をたっぴりとふり返りたいと思います。



プログラムは、1日目に「ラフティング」、2日目に「EXアドベンチャー」・「選択別体験学習」、3日目に「高山市内散策」といったもので、なかなかハードなものでした。ただ、そのこと自体は修学旅行では珍しいことではありません。たくさんを経験して、多くのことを学んでほしいという先生たちの願いが込められていると受け止めてほしいところです。実際、キミたちは、どのプログラムにもノリノリで取り組んでいました。キミたちはただ単に「楽しかった」程度にしか思っていないかもしれませんが、それは「多くのことを学んだ」と読み替えることができます。



主なプログラム以外で修学旅行の“山場”は、2日目夜の「学年レクリエーション」の時間ではなかったでしょうか。満足できるほどの練習時間があつたワケでもないのに、有志の生徒たちによる歌やダンス、落語やコント、1分間スピーチまで、多様なパフォーマンスが披露されました。出演者や裏方だけでなく、司会進行も有志の生徒たちが務め、「生徒たちの時間」は力強く進められました。すべてのパフォーマンスが大盛況のうちに終わった後、先生たちからの“サプライズ”で合唱のプレゼントを用意しましたが、それが予想以上にキミたちの心にヒットしたようでした。キミたちが笑いながら感動の涙を流しているとき、先生たちも胸に熱いものがこみあげてくるのを感じていました。先生たちの気持ちとキミたちの気持ちが“共鳴した”“響き合った”と表現すればいいのでしょうか、とにかく、学年の心がひとつになって、誰にとっても心温まる時間になりました。

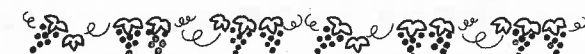


修学旅行で見たこと



修学旅行中にも話しましたが、この3日間で見えたことは、キミたちの素晴らしさばかりではありません。ルールを守れない・時間に遅れる・次の行動を理解していない・・・といった“ミス”は、残念ながらいくつも見られました。その都度、注意・指導を受け、そうするとキミたちは素直に反省することができるのですが、その反省が次の行動に生かされていないような人もいました。

これまでに何度も話していますが、人間は失敗をする生き物です。それは大人も子どもも同じです。大切なのは、「失敗しない」ことというより、「失敗を認め、受け入れ、反省し、次に生かす」ことだと考えます。そういう考えで修学旅行の3日間をふり返ってみると、日を追うごとに行動が素早く変わっていたことが見えてきます。これは、みんなの意識が高まっていった結果、気持ちが充実していった結果といえるのではないのでしょうか。「失敗を認め、受け入れ、反省し、次に生かす」ことができていたのだとすれば、大切な学びが得られたのだと思います。



修学旅行の3日間、厳しく迫ることもありましたが、その一方で、次第に行動が良くなっていくのも感じていました。解散式の際、「3日間、完璧でなかったところがよかった」ということを話しましたが、その意味は理解できているのでしょうか。「完璧でない」ということは「課題がある」・「課題が明らかになった」ということです。繰り返しますが、私たち人間は失敗をする生き物です。私たちの人生は、失敗を次に生かし、自分を成長させることの繰り返しです。先生たちは、キミたちに“完璧”を求めているワケではありません。ただ、どんな失敗も、周りの人に影響を与えます。その影響に思いを致すことのできない人になってはいけないと考えています。たとえば、時間に遅れたら相手を待たせることになります。そんなとき、「約束の時間には遅れていないのだから」といって急ごうとしない人ではなく、「相手の時間を奪ってはいけないから」といって急ぐ人になってほしいと願っています。その点、修学旅行の3日間は、学年全体のことを考えた上で自分の行動を正していけるようになっていました。やはりそれは修学旅行の学びの結果といえるでしょう。

さて、修学旅行の3日間で得られた学びは、残り4か月半の中学校生活で生かさなければなりません。私たちが残した課題も、残りの中学校生活で解決できれば、私たちはもっと大きく成長します。残り4か月半で、どこまで成長することができるのか——。先生たちは、どこまでも満足することなく、キミたちを導いていくつもりです。61期生、心ひとつにして邁進しましょう。

保護者のみなさまへ

ご心配をおかけしましたが、無事に修学旅行を終えることができました。これも、みなさまのご理解とご協力のおかげと感謝いたしております。ありがとうございました。なお、今回の修学旅行で「地域共通クーポン券」が利用できたことは既にお伝えしておりますが、今回の修学旅行は「Go To トラベル事業」の対象にもなっています。それによって割引された分は、改めて会計報告と共に返金いたしますこととなります。ご了承ください。さて、来週9日(月)から13日(金)は進路懇談会が実施されます。日時は各担任よりご連絡いたしますが、懇談会までに、進路に関して、ご家庭でも時間をとって話し合ってくださいよう、よろしくお願いいたします。

